

分野	No.	課題	取組みのヒント、事例
世代交代	1	・まちづくりイベントの持続・継続のため、どのように <u>世代交代</u> をしていくか	・イベントへの <u>大学生の参画</u> ・イベントに関わることで <u>大学の単位が取れる仕組み</u> → <u>過去の卒業生がまちづくりに興味を持って参加してくれるという循環</u> が生まれ、若い世代が頑張っ <u>て前に出てくるようになった</u> → <u>市場街に参加したいから大学を受験したという学生が、複数人出てきている</u>
担い手不足 高齢化	2	・ <u>祭礼行事</u> を引き継ぐ住民の <u>高齢化</u> 、 <u>担い手不足</u>	・ <u>30～40代の活躍する場所も必要</u> ・ <u>新しいものに取り組まないと若い人は来ない</u>
	3	・ <u>芸術・文化活動</u> をする若い人が減り、 <u>高齢化が進んでいる</u>	・まずは <u>若い人がやる機会を広げる</u> ・ <u>1回の体験から</u> 、それをどのようにして <u>継続的なものにしていくのか</u> が重要
	4	・大学のように <u>団体に若い人が必ず入ってくる仕組みがない</u>	・ <u>子どもが参加できれば、その親の世代も参加してくれる</u>
	5	・ <u>30～40代が</u> 、声をかけても <u>仕事やプライベートの予定で参加できない</u>	
	6	・教える側が若ければ、習う側も若くなるのはわかっているが、 <u>若い方</u> というのは勤めているので、 <u>時間もお金も場所もない</u> 。	
	7	・ <u>コロナ禍</u> により中止した <u>地域活動の復活</u>	
育成 こども	8	・ <u>高校生が文化に触れる機会少ない</u>	・文化イベント（ひなフェス）への <u>高校生の参加</u>
	9	・ <u>高岡のことをあまり知らない高校生多い</u>	・ <u>授業の一環で</u> 、市内のスポットを取材して、紹介するカードを作成し、道の駅などに設置
	10	・子どもが何かしらの <u>習い事をする文化が変わり</u> 、芸術・文化活動をする <u>子どもが減った</u>	
	11	・ <u>子ども教室を開催してもなかなか人が集まらない</u>	
	12		・学校等で子どもが芸術文化に触れる機会というのは非常に多い ・10才のファーストコンサートは30年やっている。オーケストラアンサンブル金沢という <u>近くにある芸術資源をうまく活用</u> しながらやっている。 ・地域活動を <u>子どもの頃にやっていると大人になっても地域に興味をもって繋がりが増える</u>
外部人材	13	・ <u>県外からボランティアとして参加されている方はいるが、毎年継続的に参加してくれる方は少ない</u>	・ <u>深く関われる仕組み</u>

活動内容	14	・すばらしい <u>伝統</u> でありながら、逆に <u>現代に追いついていない場合もある</u>	・伝統にしがみつかず <u>に何か変わらないといけない部分もあるのかも</u>
	15	・異なる分野の <u>連携</u> が多く生まれていない	・異なる分野が連携する取組みの増 ・芸術祭にクラフトを融合させて、同一会場で作品を飾るとか、芸術祭のロビーで鋳物体験をやるなどもあるといい。
	16		・ <u>1つの分野で違う世代の人の作品を並べてみる</u> というのも面白い
	17		・発表する場があるからこそ、 <u>やりがいを持って取り組める</u>

発信	18	・市民に取組み、イベントの <u>素晴らしさが伝わっていない</u>	・高岡市がこんなに <u>素晴らしいんだ</u> という <u>ことを市民に知ってもらう機会</u> を持てたらいい
	19	・どれだけ素晴らしい取組みやイベントが開催されていても、高岡市のまちづくりに高岡市民としての <u>素晴らしさを感じないと、子どもたちは外へ出て行ってしまう</u>	・高岡市は有形無形の文化が非常に豊富だと感じる。子どものすぐそばに文化がある。 ・芸術祭の会場にブースを設置し、高岡の文化だったり芸術を紹介していたり、QRコードを貼っておいて情報を流したりするのも考えられる。
	20	・ <u>市民をどうやってその場に連れて来られるか</u>	
	21	・YouTubeに <u>動画を公開</u> すること等は <u>自分たちだけでは難しい</u>	
	22		・ <u>市のラインを使って広報すると、一気に知名度が上がる</u> 。今の若い方々の情報の享受は、すべてスマホからになっている。